

(仮訳)

## グローバルなシステム上重要な保険会社(G-SIIs)の2016年リスト

1. 2011年11月、金融安定理事会(FSB)は、システム上重要な金融機関(SIFIs)に関するシステミックリスク及びモラルハザードリスクに対処するための一連の政策措置を公表した。2013年7月、FSBは、保険監督者国際機構(IAIS)及び各国当局との協議のうえ、IAISによって開発された選定手法を用いて、グローバルなシステム上重要な保険会社(G-SIIs)9社の当初リストを特定したほか、これら9社のG-SIIsに対して適用されるべき政策措置を特定した。同報告では、G-SIIsリストは、新しいデータに基づき、毎年更新され、毎年11月にFSBにより公表されることとしていた。
2. FSBは、IAIS及び各国当局と協議のうえ、年次のグローバルSIFIsの特定プロセスの一環として、保険会社9社を2016年のG-SIIsに特定した。2016年G-SIIsリスト(別添参照)は、2015年末時点データを用いたIAISの提案に基づいている。2016年G-SIIsリストにおける保険会社は、2015年G-SIIsリストにおけるものと同じである。
3. G-SIIsは、以下の国際的に合意された基準の適用を受けることになる。
  - 2015年10月にIAISより最初の開発が公表された「上乘せ資本要件」(HLA: Higher loss absorbency)。HLAは、IAISによるG-SIIs選定手法に関する更なる作業を反映して改訂され、2017年11月に特定されるG-SIIsに対して2019年1月から適用される予定である。
  - グループ監督者による持株会社への直接の監督権限およびシステミックリスク管理計画ならびに流動性管理計画の策定・実施の監視を含む、グループ全体の監督の強化。
  - グループ全体の再建・破綻処理計画および破綻処理可能性の定期的評価。各G-SIIの破綻処理可能性は、各社の危機管理グループ内の上級規制当局者によるハイレベルのFSB「破綻処理可能性評価プロセス」(RAP: Resolvability Assessment Process)により検証される。
4. IAISは、G-SIIs選定手法に関する作業を継続しており、2015年11月に開始した市中協議を経て、2016年6月に『グローバルなシステム上重要な保険会社: 改訂選定手法』を公表した。FSBは、2017年第1四半期に、G-SIIs選定手法に関する更なる作業についての作業計画及び日程を受け取ることを期待する。
5. IAISは、G-SIIのエンティティ・ベースの評価手法を補完しうるものとして、システミックリスクに対処するためのアクティビティ・ベースの手法について

検討している。FSB は、この作業に関する更なる最新情報を受け取れることを期待する。

**2016年 G-SIIs 選定作業の結果として特定された G-SIIs  
(アルファベット順)**

Aegon N. V.

Allianz SE

American International Group, Inc.

Aviva plc

Axa S. A.

MetLife, Inc.

Ping An Insurance (Group) Company of China, Ltd.

Prudential Financial, Inc.

Prudential plc